

2023年5月 話題広告賞

国指定名勝
日本の滝100選

信州 須坂

よな こ だい ぼく ふ

米子大瀑布

お待たせしました!
2019年東日本台風以降、立ち入りができなくなっておりましたアクセス道路が3年半ぶりの復活!

2023年5月23日
AM9:00開通

米子大瀑布とは

米子大瀑布は根拠不明に山内阿蘇山系から湧き出る豊富な水量を誇る平懸流(落差約75メートル)と断崖直下約200m(落差約100m)の2つの段の総称であり、日本の滝100選にも選ばれている名瀑です。「米子瀑布群」として国の名勝にも指定されています。

米子大瀑布周辺の山々や平懸流・断崖流は古くより多摩川沿いの信仰の対象とされており、河原のふもとには「米子大平懸のひつむらぎ」と呼ばれる「米子不動尊」の隠れ本堂(おぼろさま)も存在します。鬼之窟は不動尊を祀り、自由信仰、須賀信願の山岳修験道の聖地であり、不動尊は修験者の「ムス子」の場として夏には打ちたれる行者の姿も見られました。米子連山平懸(祖現赤井子)では「御成」自律を御神体と崇拝されています。

また、米子大瀑布周辺は風景や雄行、メイスンアートの経路地として長い歴史を持ち、1600年代頃から、昭和4年(1929)年に完全閉鎖されるまで約300年経路が保たれてきました。風景の習性が最盛期であった昭和6年(1931)年頃には、飯山長業目とその家族を合わせて約1,000人を越える人が訪れており、集落には診療所や貸前市場、学校、地蔵堂などの施設が残り、飯山での人々の暮らしを支えていました。行政・化学工業界の著しい発展により風景の取崩価格の下落が続き、昭和30年(1955)年に風景の経路部門が閉鎖され、昭和38年(1963)年には断崖とメイスンアートの段崖部門も閉鎖され、完全閉鎖になりました。その後、全ての施設は撤去されたため、現在は当時の痕跡を見ることはできません。しかし、米子大瀑布には雄大な自然だけでなく、多くの人々の信仰の痕跡も、歴史が積み重なっています。

1周3km、所要時間約2時間の周遊道があります。

米子大瀑布トレッキングの心得

- 1 トレッキングに適した服装で、自然を尊重しやすい服装を選びます。トレッキングシューズなどの履き慣れたもの、山の道は歩きやすい靴や登山靴を選び、必ず履き慣れたものを選びます。米子大瀑布周辺は急な坂道が多いため、トレッキングシューズは必須です。
- 2 登山靴の履き慣れが大切です。米子大瀑布周辺は急な坂道が多いため、トレッキングシューズは必須です。
- 3 こまめに水分補給をしましょう。米子大瀑布周辺は日差しが強く、水分補給が大切です。
- 4 登山に慣れた人でも、米子大瀑布周辺には急な坂道が多いため、登山は控えめに行ってください。

※上記写真は、撮影者から撮影されたものであり、必ずしも正確なものではありません。

米子大瀑布トレッキングツアー (タクシー送迎・ガイド付きプラン)

出発日：5月27日(土) 5月28日(日) 5月30日(火) 5月31日(水)

料金：1名あたり10,000円(税別) / 2名以上15,000円(税別)

参加費：1名あたり8,000円(税別) / 2名以上6,000円(税別)

※ 参加費には、お弁当、お水、お茶、お菓子、お土産(お土産代別)

※ 参加費には、お弁当、お水、お茶、お菓子、お土産(お土産代別)

※ 参加費には、お弁当、お水、お茶、お菓子、お土産(お土産代別)

5月・6月開催
参加者募集中!

交通のご案内

ACCESS

五味池温泉高野山温泉
須坂市 026-215-2225 (須坂温泉観光協会)

須坂市 026-215-2225 (須坂温泉観光協会)

須坂市 026-215-2225 (須坂温泉観光協会)

米子大瀑布トレッキングツアー

出発時刻	送迎	米子大瀑布	須坂市	送迎	出発時刻
08:00	09:00	10:00	14:00	14:30	15:00

◆申込：須坂温泉観光協会 026-215-2225 FAX 026-215-2226

◆申込：須坂温泉観光協会 026-215-2225 FAX 026-215-2226

◆申込：須坂温泉観光協会 026-215-2225 FAX 026-215-2226

グリーンシーズンの須坂市は「気持ちイイ」がいっぱい! 遊びにおいでよ!

五味池温泉高野山温泉
須坂市 026-215-2225 (須坂温泉観光協会)

小滝千柱コレクション・世界の民人形博物館
須坂市 026-245-2340

須坂市 026-215-2225 (須坂温泉観光協会)

須坂市 026-245-2340

須坂市 026-245-2340

須坂市 026-245-2340